

「富富富」登熟状況と今後の技術対策について

1 登熟状況

(1) 今回調査（8月29・30日にサンプリング）したほ場の出穂期は、平均で8月1日、籾黄化率は37%であった。なお、出穂の早いほ場では、黄化率が70%に達するものがあった。

籾黄化率85%に到達するまでの日数は、出穂から41日程度（出穂期8月1日の場合、9月11日頃）と見込まれる。

(2) 青米比率は平均で68%で、籾黄化の進捗に応じて、青米は減少している。

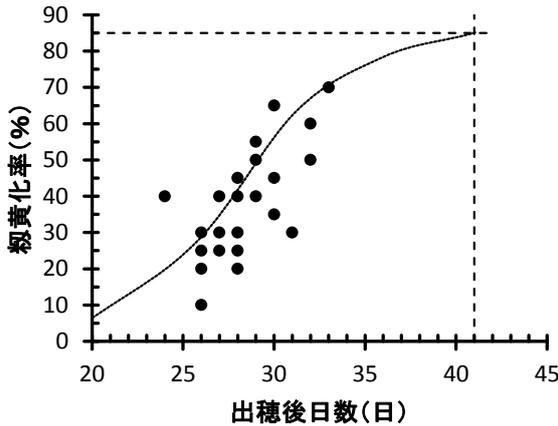


図3 出穂後日数と籾黄化率の関係

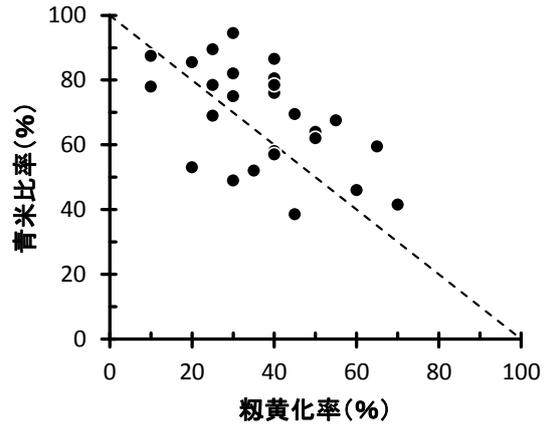


図4 籾黄化率と青米比率の関係

2 今後の技術対策

- ・籾の黄化が進んだものから遅れずに刈取りを開始し、胴割米の発生を防止する。
- ・未熟粒等の混入を防ぐため、1.9mmの篩目を使用するとともに、色彩選別機を整備している地域では、積極的にその活用を図る。

① 刈取り5～7日前まで間断かん水を行う。また、収穫予定日頃にフェーンが予想される場合はフェーンの前に刈取る。一方、収穫時期まで日数があるほ場は入水を行う。地耐力確保のため、速やかな排水が図られるよう、手溝の点検等を行う。

② 籾の黄化が進んだものから遅れずに刈取りを開始し、胴割米の発生を防止する。

籾黄化率80%（積算気温約1050℃）を目安に刈取りを開始する。

なお、出穂後20日間の日平均気温が28.9℃と極めて高い気温で推移したことから、籾黄化率85～90%で刈り終えるようにする。また、今後の気象情報やほ場ごとの籾黄化状況に注意するとともに、コシヒカリなど他品種の登熟状況や生産者の収穫・乾化作業能力を考慮し、作業計画を立てる。

表4 「富富富」の刈取時期の目安

出穂期 (月/日)	(籾黄化率) (積算気温)	80% 約1050℃	85% 約1100℃
8/1		9月9日頃	9月11日頃
8/3		9月11日頃	9月13日頃
8/5		9月14日頃	9月16日頃

注) 表中の月日は、9/3以降の平均気温が平年並（H21～30）として予測した。

③ 着色米などが多くみられる場合は、別扱いをする。特に、施設での荷受けにあたっては、事前検査を入念に行い、着色米等の混入防止に努める。

④ 乾燥にあたっては、玄米水分 14.5～15.0%に均一に仕上げるため、適正な送風温度の設定や二段乾燥等により、急激な乾燥を避ける。その際は、青米の多少により乾燥後の水分が変化するので、青米の混入程度を考慮して、乾燥機の停止水分を設定する。特に、青粃が多い状態で刈り取った場合は、留意する。

表5 乾燥機停止水分の目安

100粒中の青米粒数	乾燥機の停止水分	乾燥機停止後の水分変化
0～5粒	15.0～15.5%	乾く(-0.5%)
6～10粒	14.5～15.0%	ほとんど変わらない
11粒以上	14.0～14.5%	もどる(+0.5%)

⑤ 未熟粒の混入を防ぐため、1.9mm の篩目を使用するとともに、色彩選別機を整備している地域では、積極的にその活用を図る。

⑥ その他の収穫・乾燥調製作業は、コシヒカリに準じて実施する。